

平成 25 年 6 月 6 日

平成 25 年度 第一回 学校運営連絡協議会 議事録

1. 日時：平成 25 年 6 月 6 日 午後 3 時 45 分～午後 5 時 00 分

2. 場所：杉並総合高等学校 会議室

3. 出席者（敬称略）：

全国総合学科校長会 顧問	A 氏
高井戸中学校校長	B 氏
教育新聞社	C 氏
浜田山商店街会長	E 氏
元永福高等学校 P T A 会長	F 氏
PTA 会長	H 氏
PTA 副会長	I 氏

学校出席者 校長  
副校長  
教務主任  
生活指導主任  
進路相談部主任  
総務部主任  
1 学年主任

4. 議事

1. 学校長挨拶（別掲）

2. 委嘱状の交付

3. 委員紹介

5. 教育活動報告

(1) 学校経営報告・方針 校長（別掲 学校経営報告・方針参照）

(2) 副校長報告

今年度は教育委員会から 3 つの推進校指定を受けた。防災教育推進校、I C T 活用推進校、理数教育チャレンジ団体の 3 つである。

防災教育については、推進校としてではなく、全都立高で行なう宿泊防災訓練をさる 5 月 10 日に実施した。水道局、消防署、警察署、区役所、高井戸中、高井戸東中等合わせて 70 名ほどの皆さんの協力を得て実施することが出来た。5 月 29 日の読売新聞で報道されたほか、教育委員会の指導部高等学校教育指導課の「高志」1 号にも掲載された。

I C T活用推進校は外部支援人材 2 名が学校に派遣され、I C Tを使った授業を推進するためのサポートをしてくれるものである。指定を受けると、教員は年間に一回、I C Tを使った授業を行うこと、各教科は学習コンテンツ 2 点をコンテストに応募することがノルマである。

理数教育チャレンジ団体については情報科が飛行船の模型をプログラミングして飛ばすことになり、来る 7 月 5 日に教育委員会が見学に来る予定である。

この他に、東京都教育委員会が、本校の国際理解教育が充実しているとして教育奨励賞に推薦してくれることになった。

### (3)教務部関係報告 教務部主任

(レジュメに沿って報告)

#### 1.入試結果

中進対の応募倍率は 22 年度以降右肩上がり推移している。

#### 2.学力向上推進プラン

今年度は 5 教科で実施する。1 年生の高校入試の分析を行い、何が弱いかを見た上で学習到達目標を設定する。10 月に再度テストをして進捗状況を把握する。

#### 3. 国際理解教育

9 月 21 日～29 日にフォートストリート校が来日する。今年度はスカイプでフォートストリート校と交信することを検討中。機材は揃っており、4 年前にも検討したがオーストラリア側のセキュリティの問題で実施できなかった。

#### 4. 次世代リーダー育成道場

現在、1 名がオーストラリアに留学中である。今年は 200 名の募集があり、学校特別推薦で 2 年生 1 名、学校一般推薦で 1 年生 3 名が応募している。

#### 5. 平成 25 年度日韓高校生交流

昨年は 2 名が参加。今年は 5 名が応募。

この他に外務省の主催事業（ジェネシス）での派遣(11 月)にも 5 名応募。

#### 6. 留学生について

1 学期から 2 学期までタイからの留学生を受け入れている(一年次生)。9 月から来年 6 月までノルウェーからの留学生が来る予定。(二年次生)。

#### 7.教育実習

今年は 4 名の実習生（国語・理科・音楽・保健体育）を受け入れている。

### (4)生活指導関係報告 生活指導部主任

#### 1.今年度の体制について

今年度は保健部と合併した結果、13 人の大所帯となった。

#### 2. P D C A

P D C A の目標は、遅刻者数の減少と非公式サイト等の監視で情報提供される書き込みを行なった生徒数の減少。

### 3. 基本方針

頭髪指導、遅刻指導、服装指導、化粧・装飾品指導、中抜け・無断外出の禁止、自転車指導で、やることは昨年度と同じである。

### 4. 行事

6月5日の合唱祭は銀賞、金賞、最優秀賞等の発表のあるたびに大歓声があがり生徒がとても喜んでいました。素直な生徒たちで、嬉しかった。

12月10日の薬物乱用教室では、PTAの協力を得て、講師を杉山裕太郎氏にお願いすることになった。保護者の方々にも聞いて貰いたい。

5. 遅刻者数については資料を見て貰いたい。4月は残念ながらやや多い感じである。年3回の遅刻指導週間を設定しているが、今年から名称を変更し生活指導週間とし、遅刻のみならず服装、頭髪、身だしなみの指導も強化したい。  
保健室利用状況は資料の通り。

## (4) 進路関係報告 進路相談部主任

### 1.7 期生の合格状況

4年生大学の合格者が大幅に増加し、特に一般試験合格者が増えており、推薦より一般で入っている状況がわかる。全体的な内訳としては、大学が半分、短大が10名程度、残りは専門という傾向に変わりはないが、一般入試での合格者数の多い点が目立っている。最後まで頑張って精一杯のところ勝負する生徒が増えている。

いわゆるMARCHクラスは現役で10名合格、浪人もいれると17名。日東駒専クラスは現役で31名、浪人もいれると50名が合格している。

短大、専門に進学した生徒も将来の見通しを持って進学するケースが大半で、短大合格者11名のうち、資格をとる学部の進学者は8名、専門58名のうち資格を取る学校の進学者は31名である。

2. 今年度の取組みは、「自宅学習の習慣づけ」「ワンランク上への挑戦」という目的に合致した ①「産業社会と人間」「総合的な学習の時間」の実施 ②進路行事の実施 ③進路に係るツールの使用（教員のカンではなく、データに基づいた指導）。
3. 主な進路行事は資料ご参照。
4. 土曜講習の受講者数は昨年比大幅減となっており、とくに3年生の落ち込みが激しいがめげずに声かけしていきたい。
5. 第一回スタディサポートでは、学習時間を自分で確認しようと言っている。4月の学習ガイダンスでの調査では家庭学習時間は中学生の時より増加している。

## (5) 総務関係 総務部主任

### 1. 宿泊防災訓練

5月10日に宿泊防災訓練を実施。参加生徒数236名(全員)、連携期間は東京都水道局、杉並消防署、高井戸警察署、杉並区役所、高井戸中学校、高井戸東小学校。非常時給水訓練、近隣援助訓練、応急救急訓練、炊き出し訓練を行なった。

5月29日付け読売新聞に報道された。

2. 10周年記念式典を10月11日午前11時より杉並公会堂にて実施。

(6)第一学年 第一学年主任

1. 学年の目標は「自主自立と自己実現」とした。
2. 生徒の居住地域を7期生と比較すると、7期生は杉並・世田谷等学校周辺に居住している生徒が100名近くいたが、今年の入学生(10期生)は市部に散らばっている。少し遠くても杉総に行こう、同じ総合でも杉総に行こうという部分があるように見える。事実、外国語(特に韓国語)がある、芸術系の選択科目が多い、国際交流などが志望理由となっている。
3. 朝学習は9期生から始めたが10期生でも継続しており、英語の多読と朝日新聞天声人語の書き写しを行なっている。自主参加で各クラス10名程度が参加している。
4. 海外修学旅行を東京都に申請中である。保護者の同意は100%であった。平成27年2月3日～7日にシンガポールに行く。

6. 質疑・意見交換

A氏：昨年度の杉総の発信力は目覚ましいものがある。今年度の取組みを聞いて益々存在感が増している。プレゼンテーションは非常に重要である。それがプレゼンス、存在感に結びつく。7期生の進路実績、生徒の状況、入選倍率等すべて連動しており、杉総は今非常によい回転の中にあると感じている。

10年目というのは何かある年で、色々な声が聞こえてくる。ご苦労も多いのは重々わかるが、ここをきちんと捉えて進めていくと次の10年につながる。

是非、今のよい流れをつないで欲しい。

B氏：学校経営計画のなかにあるが、様々な体験活動は生徒にとって学ぶことが多い。中学校でも今まで以上に体験的なことにチャレンジさせている。それが、考え学んでいくことにつながっていく。良いと思ったことは是非、一緒にやっていきたい。秋の防災訓練には是非多数の生徒に参加して欲しい。

地域清掃活動については、1学期1年生、2学期2年生、3学期3年生で取り組んでいる。中高の連携で地域に貢献できることがあれば是非一緒にやっていきたい。

E氏：以前の高校に比べるととてもよくなってきたと思う。修学旅行に海外に行くというのも魅力である。是非、頑張ってよい高校にして貰いたい。

C氏：3年間、協議会委員として見させて戴いて「出来過ぎ」感がある。専門学校のなかには入ってはいけない学校もあるが、そういう学校に行く生徒がいないなど、数字だけではない中身の濃さがある。生活指導・遅刻指導については、よい意味で原理原則に戻った感がある。細かいところがすべて出来過ぎで、返ってもややもや感がある。来年あたりは注意しないといけないかも知れない。

I C Tについては、民間のいうことと学校教員の必要なことは少し違う。例え

ば、民間では黒板に投影するという事はない。民間の人は、赤、黄色が有効ですというが黒板に赤い色を投影しても色弱の人は見えない。こういうことに留意して進めるべきだろう。

F氏：すごく頑張っているという感じがあって先生方は大変だと思うが、今年辺りはそういうぴりぴりした感じが少しなくなっているようだ。

海外修学旅行の100%同意というのはPTAとの連携がうまく行かないととれないものである。

生活指導については、毎年やっていることがつながってきていると思う。

H氏：昨日の合唱祭はクラスでまとまって、中野ゼロホールが割れんばかりの歓声であった。あのような熱い子供たちなので先生方の期待に応えられると思う。

I氏：5月10日の宿泊防災訓練は、地域の方々や連携機関からの指導があり、一番驚いたのは小中学校と連携していることであった。世田谷区にはない試みで、重要なことだと思う。今後も宜しく御願いたい。

以上